

宋以前傷寒論考

岡田研吉・牧角和宏・小高修司 著／森立之研究会 編
A5判／並製／640頁／定価 本体8,000円＋税

画期的な傷寒論研究。



千年来の『傷寒論』の
疑問が、いま氷解する。

[定説を打ち破る「真実」の数々]

『傷寒論』は、どのように書き換えられたのか。
『宋板傷寒論』に隠されたミッシング・リンク。

『黄帝内経』『諸病源候論』『千金要方』『千金翼方』『外台秘要方』『太平聖恵方』
など、数多の文献を通じた考証と鋭い洞察力によって、その歴史の変遷が明らかになった。

- ・陽病・陰病に対する治療原則の変遷
- ・発汗剤として用いられていた附子
- ・「陽明病胃中寒」から「陽明病胃家実」へ
- ・病態概念の変化に伴う、条文の移動・書き換え

<付録CD-ROM>『宋板傷寒論』条文テキスト



江戸医学館以来の、
日本の誇るべき
傷寒論研究。

中医学を学ぶための雑誌『中医臨床』（季刊）ますます面白く、実用的な内容になっています。

東洋学術出版社

ご注文は、メールまたはフリーダイヤルFAXで

FAX.0120-727-060

〒272-0822 千葉県市川市宮久保3-1-5 / TEL.047-371-8337 / E-mail: hanbai@chuui.co.jp / ホームページ ●http://www.chuui.co.jp/ ●http://www.chuui.com/

